

令和 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新型コロナ感染症受診支援搬送体制構築事業
事業主体 (連絡先)	白馬・小谷新型コロナ受診支援対策協議会 (事務局 白馬村観光局 0261-72-7100)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,671,600 円 (うち支援金: 4,537,000 円)

事業内容

新型コロナ感染症の疑いがあり指定病院での受診を進められた方で自身での移動手段を持たない観光客の受診支援のための搬送体制を構築する。
 感染疑い者による感染拡大防止と運転手の安全確保のためのガイドブック及び、宿泊事業者や利用者本人にも協力してもらう必要があるため宿泊事業者向けと利用者向けの案内作成する。
 それを白馬村及び小谷村の観光事業者に周知し安心感のある観光地を目指す。
 運営業務は、(有)白馬交通に委託して運行する。



【感染対策を施した車両】

【目標・ねらい】

- ①交通手段を持たない観光客向けの病院への搬送体制構築
- ②安全な搬送の為のガイドブック作成
- ③安全・安心な観光地づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
 地域が抱える課題を直接的に解決する事業となり、観光事業者や利用者双方が安心できる観光地に寄与できた。実際の運行は5件だったが、作成したガイドブックにより感染リスクはほぼない状況での運行ができた。
 修学旅行は秋に予定していた学校のキャンセルはなく、当事業が学校・旅行会社側に安心感を与えることに大きく貢献した。
 また当事業を実施したことで、長野県内多くの市町村で同様な取り組みが進み、モデル事業となった。

※自己評価 【 A 】

【理由】
 修学旅行は秋に予定していた学校のキャンセルはなく、安心感のある観光地として大きく寄与した。県内多くの市町村で同様な取組が進み、当事業がモデル事業となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
 新型コロナウイルス感染症が収束しない現状では、まだ必要なサービスであるため、4月以降も継続する。
 各事業者へ継続的に周知して有事の際にスムーズな運行を心がける。
 また、移動手段を持たない村民にも利用範囲を拡大するなどして、今以上に地域抱える課題を解決していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある